

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	E14 - 1

項目

- ☒ 研究研修費
 ☐ 調査費
 ☐ 広報費
 ☐ 広聴費
 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費
 ☐ 資料作成費
 ☐ 資料購入費
 ☐ 人件費
 ☐ 事務所費

支出年月日

令和 8 年 3 月 19 日

支出額

3,600 円 (按分率 %)

支出内容

旅費 (2/12 大阪)

備考

旅費請求内訳書

E14-1

旅行先 大阪市（特別職）			用務 政務活動のため				旅行期間 自 2月12日 至 2月12日			日数 即日	
月日	旅行経路	路程 km	鉄道賃			船賃 航空賃	車賃 実費又は 定額	日当	宿泊手当	宿泊料 又は包括 宿泊費	摘要
			運賃 円	特別車 両料金 円	急行料 円						
/											旅費定額表 (A0400) 合計 ¥3,600 円
/											
/											
/											
計											
航空機 利用区間 ⇔						公用車等利用					

請求書

次のとおり請求します。

創和クラブ 代表者

浜田 真輔 様

令和

年

月

日

所 属	等級	運 賃	日 当 宿泊手当	その他 料 金	旅 費 定額表	支 給 額	氏 名	請求 印	領収 印
職 位		円	円 宿泊費又は包括 宿泊費	円	円	円			
	市長				No. A 0400 D1 ×1 2,280 1,320	3,600	戸田 正人		
議員	級								
					No.				
	級								
					No.				
	級								
小 計					3,600	3,600	1 人		

整理番号

E14 - 1

令和 8年 2月 13日

活動報告書

報告者名 戸田正人

下記の通り、報告します。

日 時	令和8年2月12日
場 所	大阪市
目 的	月間事業構想記念シンポジウム 先駆ける関西「ファーストペンギンの心意気サミット 2026」に参加のため
内 容	別紙記載

日時：2026年2月12日(木) 15:00-19:00

会場：事業構想大学院大学 大阪校

(グランフロント大阪 タワーC 10F)

和歌山市議会議員 総和クラブ 戸田正人

【タイムスケジュール】

15:10-15:45：事業構想大学院大学 学長・田中里沙

基調講演①「地域企業経営者にこそ必要な事業構想」

- ・異分野の知恵を横断的につなげることが大切である
- ・「発着想」の事業構想アイデアを体験的にまとめていくこと
- ・会社の理念とリベラルアーツが人材育成において必要である
- ・高等人材が増すとエンゲージメント向上に資すると仮説をたて事業構想大では研究をつんでいる/
- ・接続人材を求めている
- ・エスコンフィールドを中心に福祉や教育を広げている。VCやベンチャー誘致、移住者誘致も
- ・経営戦略と人事戦略が連動していかなければならない

16:00-16:30：パナソニックくらしアプライアンス社 常務 今村 佳世 様ご講演

- ・家事の意味を変革する「カジ育」モデル
- ・今までは物質的な豊かさを実現（家電）⇒利便性の向上（機能の足し算・アップデート版）
- ・⇒しかしお客様の実現したかったことを達成しているのか、と考え直す
- ・大量に良質の商品が売れていた時代からの変化が起きている（IOTでつながるAIの台頭）
- ・お客様を置き去りにしたスペック競争化になっているのではないかという疑問
- ・くらしと家事とリアルを可視化するワークショップをおこない、潜在的な価値観や願望を可視化
- ・例「子供のCANを増やすには」MUST（今までの家電）⇒CAN（アップデート版）⇒WILLを考える
- ・物の豊かさから心の豊かさを求めている時代（家電の在り方として重労働時代から心の豊かさの時代へ）
- ・カジ育⇒家事を楽しむごとに変えていくこと
- ・まちの電気屋さんが無くなってから（量販店やECが主流）、メーカーは顧客との接点が無くなった
- ・家事のPain⇒Enjoy⇒Wishへと変えていくという理念
- ・家事の痛みを減らすのではなく家族のきずなを深めるためのコトづくりである

16:40-17:10：新コスモス電機 代表取締役社長 高橋 良典 様ご講演

- ・独自のセンサ技術で世界のガス事故を無くす
- ・失敗は隠すな、失敗は胸を張って伝えろ⇒それが次への価値や商品とつながるはず
- ・様々なガス事故を経て、安心安全のガス生活を送れるようなビジネスモデル
- ・日本における産業事故は世界的に見て非常に少ない⇒日本の安全商品や制度を世界に売り出すべきだ
- ・マイコンによるガス漏れ検知器（遮断機能）は日本だけの製品であり技術である

17:10-17:40：事業構想大学院大学 小宮信彦 特任教授

基調講演②「ポスト万博時代の事業構想」

- ・「未来社会デザイン」人災の育成というテーマ
- ・1853NYエレベーター⇒1876フィラデルフィア電話⇒パリ鉄の建造物エッフェル塔⇒大阪ファミレス、ワイ

ヤレステレフォン、コインロッカー、缶コーヒー、ヨーグルト⇒愛知 ICチップ、ゴミの分別

- ・人類の普遍的な社会課題をテーマにするのが万博。啓発、行動変容等
- ・今回の万博 エンタメ×テクノロジー×リーダーズサミット
- ・レガシーとして：未来を構想する人材を万博がきっかりに創出できか⇒ソーシャルデザイン
- ・いまだに解決できていない複雑に取り組んだ「やっかいな課題」=社会課題
- ・「こうゆう風な世の中をつくりたい」からバックキャスト思考で考える。シーズから考えるな。
- ・大阪御堂筋（大きな道路）1920年に計画し1937年に完成⇒自動車が走っていない時代に未来を考えて構想したモデル。大阪の東西道路は〇〇通り、いわゆる海に向かっていている道路。しかし〇〇筋は南北に走っている。大阪市長は都市計画のリーダーといわれる人。御堂筋の地下には地下鉄が走っており、汽車が走っている時代のなかで、地下鉄の必要性を都市計画に盛り込んだ。まさにバックキャストリングである。
- ・事業構想とは未来デザインであり、社会デザインである。
- ・1908年 フォード自動車 馬車が走っていた時代に、顧客にどんな乗り物がほしいと聞いても「鉄の馬車」「豪華な馬車」としてしか発想できない。その時代に自動車の概念をつくったのがフォードである。
- ・ロジカルシンキングだけでなく、クリエイティブシンキングとの掛け算である
- ・「なぜ」を説明できる人をつくる

アート（主観・ビジョン・哲学）×クラフト（社会科学）×サイエンス

17:40-17:55：公益社団法人 関西経済連合会久米様より案内

- ・関西から日本の経済の発展にむけて、関西一円で活動している
- ・道州制に取り組んできた⇒関西広域連合設立。知事会議に民間として関わっている。
- ・アフター万博における社会実装をどうしていくかが、今後のテーマ
- ・コンセプト：先駆ける関西、ファーストペンギンの心意気
- ・13の委員会で構成されている
- ・公設試連携プラットフォーム⇒各地の技術センターらと連携（例：和歌山県工業技術センター）
- ・SU支援 VCネットワーク、マッチング、産総研との共創拠点
- ・ナイトタイムミュージアムKANSAI（京都、滋賀、神戸）

18:00-19:00：交流会

[まとめ]

本企画は、リスクを恐れず挑戦し、新しい時代を切り拓く関西企業のトップリーダーたちの構想と実践に焦点を当てたもので、現場で意思決定を行う当事者の視点から語られる内容が大きな特徴であった。机上の理論ではなく、「まず飛び込む」「まずやってみる」という行動者の哲学が一貫していると感じた。

会場には、誌面に登場したトップランナーや関経連会員企業をはじめ、西日本の変革を担う実践者が一堂に会しており、事業を生み出すまでの葛藤、試行錯誤、そして決断のプロセスについて、率直で具体的な共有がなされていた。記事では読み取れない熱量と覚悟を、直接感じ取ることができた。

社会課題の複雑化と技術革新のスピードが増すこれからの時代に必要なのは、評論や分析にとどまることなく、自ら一步を踏み出す決断と実装力である。そのことを強く再認識した。

地域においても同様に、挑戦する人材と挑戦を支える場づくりが不可欠です。今後の和歌山市におけるイノベーション拠点形成やスタートアップ支援、官民共創の取り組みにも、この学びを具体的に活かしていきたいと考える。大変示唆に富んだ、有意義な参加機会となった。

月刊事業構想 記念シンポジウム 先駆ける関西、 ファーストペンギンの 心意気サミット 2026

関西経済を牽引するトップリーダーが集う、知と交流のサミット

月刊事業構想では、関西経済連合会 連載企画「先駆ける関西、ファーストペンギンの心意気」を通じ、リスクを恐れず挑戦し、新たな時代を切り拓く関西企業のトップリーダーたちの「構想」を取材・発信してまいりました。2026年、新たな社会課題や技術革新という荒波の前に、私たちに必要なのは、評論や分析ではなく、自ら海へ飛び込む「一歩目の決断」です。本サミットは、誌面に登場したトップランナーや、関西連合会企業をはじめとする関西の変革者たちが一堂に会するリアルイベントです。記事の行間にある「熱量」、そして構想を現実にするまでの「試行錯誤のリアル」を共有し、西日本から次世代のスタンダードを生み出すためのイベントとなります。

タイムスケジュール

講演

ファーストペンギン
企業による
先進事例共有

先進企業による講演

『月刊事業構想』掲載時のビジョンや様々な取り組みなど記事に関するご紹介 / プロジェクトの現在地：記事掲載後の進捗や直面している課題等 / 関西・未来への提言：今後の事業展開と、共創パートナー / 次世代リーダーへのメッセージ



パナソニックくらしアプライアンス社 常務 今村 佳世 氏
「家電から情報を伝え、生活を変える」



新コスモス電機 代表取締役社長 高橋 良典 氏
「独自のセンサ技術で世界中のガス事故をなくす」

その他に本学から基調講演もご用意しています。

詳細のタイムスケジュールは QR コードよりイベントホームページをご参照ください。

交流会

登壇者・参加者による交流会

月刊事業構想とは



『月刊事業構想』は、日本で唯一の事業構想修士 (MPD) を授与する専門職大学院が発行するメディアです。企業・地域の経営事例やトップリーダーへのインタビューを通じ、0から1を生み出すためのクリエイティブティと、構想を実現するための戦略・ノウハウを提供。経営者、新規事業担当者、自治体幹部など、変革を志すリーダー層から高い支持を得ています。

日時： 2026年 2月12日(木)
15:00~19:00

会場： 事業構想大学院大学 大阪校
(グランフロント大阪タワー C 10F)

対象： ・企業経営者・役員
・人材育成・人事部門長 / 担当者
・新規事業部門長 / 担当者
・事業承継者 等

主催： 学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学

後援： 公益社団法人 関西経済連合会

学校法人 先端教育機構
事業構想大学院大学

学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 大阪校
〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1
グランフロント大阪北館タワー C10階 (ナレッジキャピタル内)
E-mail : osaka@mpd.ac.jp / TEL : 06-6372-8411

イベントホームページ

参加費 / 事前申込制
お申し込みは
こちらから



政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	E15 - 1

項目

- ☒ 研究研修費
 ☐ 調査費
 ☐ 広報費
 ☐ 広聴費
 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費
 ☐ 資料作成費
 ☐ 資料購入費
 ☐ 人件費
 ☐ 事務所費

支出年月日

令和 8 年 3 月 31 日

支出額

1,200 円 (按分率 %)

支出内容

会費 (事業構想大学院 アルムナイ研究部会)
2025.4月～2026.3月分

備考

< E15-17 >

領収書

戸田 正人 様

請求No. _____

発行日 2026年03月26日

決済方法 カード決済

発行者名 青楠会

住所 東京都港区南青山3-13-16

03-3478-8411

下記正に領収いたしました。

領収金額 ￥1,200- (税込)

内容	単価(税込)	数量	金額(税込)
正会員【新規募集時】	1,200	1	1,200
合計			1,200
10%対象	1,200	(消費税	109)

備考

事業構想大学院
PMIT研究部会 会費212

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	E16 - 1

項目

- ☒ 研究研修費
 ☐ 調査費
 ☐ 広報費
 ☐ 広聴費
 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費
 ☐ 資料作成費
 ☐ 資料購入費
 ☐ 人件費
 ☐ 事務所費

支出年月日

令和 8 年 3 月 31 日

支出額

172,800 円 (按分率 %)

支出内容

会議室利用料
講師謝金

備考

$$22,800 + 150,000 = 172,800$$

領収書等貼付欄

領 収 書										
番号			取扱箇所	和歌山城ホール						
住所	和歌山市 									
名前	戸田 正人 様納									
年度	7 年度									
科目	和歌山城ホール利用料									
摘 要				金 額						
利用日 令和 8年3月25日				千	百	十	万	千	百	十 円
大会議室 17-22							1	7	2	0 0
大会議室 備品利用料A 17-22 映像セット								3	3	0 0
大会議室 備品利用料A 17-22 追加ワイヤレスマイク1本								1	4	0 0
大会議室 備品利用料A 17-22 追加有線マイク1本									9	0 0
合 計							¥	2	2	8 0 0
(10%対象額)				22,800 円						
(消費税額)				2,072 円						
上記の金額領収致しました。										
令和 8 年 3 月 25 日										
和歌山城ホール 指定管理者										
株式会社ケイミックスパブリックビジネス										
館 長 水沼 正明										
登録番号T9010401130700										
◎ この領収書の金額を訂正したもの 及び管理者印のないものは無効です。 ◎ この領収書は大切に保存してください。								取扱者印		
										

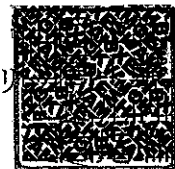
施設利用許可書

E16-1

〒640-和歌山県和歌山市許可  号

令和 8年 3月24日

戸田 正人 様

株式会社ケイミックスパブリッシング
代表取締役 橋本 鉄司

次のとおり、和歌山市公共施設の利用を許可します。

受付番号		利用者番号	
施設	和歌山城ホール		
施設内の場所	大会議室		
利用目的 (行事名称)	市政報告会		
利用日時	令和 8年 3月25日(水)17時00分 ~ 22時00分		
利用責任者	戸田 正人		
利用人数	人		

出演者					
出演予定者数	人	入場予定者数	人	会場整理員	人

受付施設	和歌山城ホール
------	---------

日付	施設内の場所	利用時間	利用人数	冷暖房設備	照明設備
3/25 (水)	大会議室	本番 17:00 ~ 22:00			

使用料	基本使用料	冷暖房使用料	照明使用料
	17,200 円	- 円	- 円
	備品使用料	減免額	
	5,600 円	0 円	
		合計	22,800 円

E16-1

領収書

和歌山市議会議員戸田正人 様

領収日

2026-03-25

領収書番号



登録番号

T8390001017096

株式会社つなぐ



992-0011

山形県米沢市中田町751番地の10
内

件名

小計	消費税	合計金額
136,364円	13,636円	150,000円

摘要	数量	単価	明細金額
講師謝金(交通費、滞在費含む)	1	150,000	150,000

内訳 10%対象(税抜)

136,364円

10%消費税

13,636円

備考

整理番号	E16 - 1
------	---------

令和 8年 2月 13日

活動報告書

報告者名 戸田正人

下記の通り、報告します。

日 時	令和8年3月25日
場 所	和歌山市
目 的	「和歌山市×米沢市まちづくり座談会」を開催 約75名の市民の方と共に「まちづくり」に対する勉強会を行った。
内 容	別紙記載 (座談会概要とアンケート調査による分析結果)

必見

和歌山市議会議員 戸田正人 PRESENTS

E16-1

和歌山市×米沢市

まちづくり 座談会

1部 講演会

「地方のまちづくり」を「世界の豊かさ」につなげる
～元外交官・元米沢市参与が米沢で目指すビジョン～

株式会社つなぐ 代表取締役 伊藤夢人氏

2部 クロストークセッション

私達が目指す「まちづくり」について

株式会社つなぐ 代表取締役 伊藤夢人氏

株式会社マキテラス 代表取締役 坂巻亜矢子氏

和歌山市議会議員 戸田正人



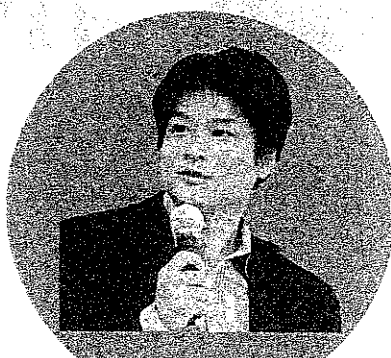
申し込みはここから
先着60名



和歌山市議会議員 戸田正人

和歌山市議会議員
スポーツ推進和歌山市議会議員連盟会長
事業構想士

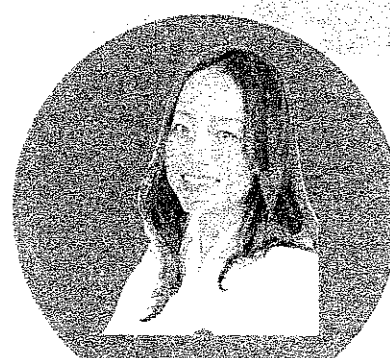
平成14年に和歌山市議会議員に初当選。以来、20年以上にわたり地方自治の現場に立ち続けている。行政の現場にビジネス的視点を取り入れながら、市民目線と事業構想力を兼ね備えた事業構想士議員として、持続可能な地域社会の実現を目指し日々奮闘している。



株式会社つなぐ 伊藤夢人

株式会社つなぐ代表取締役
米沢まちづくりラボ代表
エイベックス株式会社シニアアドバイザー

2021年まで外交官として国際協力に従事。退官後、米沢市に移住。米沢市参与として市政に携わり、地域活性化事業等、まちづくりの推進役を務めた。その後、まちづくり会社「株式会社つなぐ」や「米沢まちづくりラボ」を創設し、米沢のまちづくりの要として活躍している。



株式会社マキテラス 坂巻亜矢子

株式会社マキテラス代表取締役

元楽天株式会社ECコンサルタントや地方創生コンサルタントとして、内閣府の大規模プロジェクトの事務局から小規模事業者へのEC化支援まで地方創生に関する幅広い業務を経験。2023年山形市にターン移住し、マキテラスを起業。現在、自治体向けのふるさと納税や観光業に対するコンサルティングを行い、地域活性化に取り組んでいる。

2026
3.25



18:30-20:30

和歌山城ホール / 4F大会議室

「和歌山市×米沢市まちづくり座談会」開催

2026/03/26

主催：戸田正人

講師：元外交官・元米沢市参与・株式会社つなぐ 代表取締役伊藤夢人氏

元楽天株式会社・株式会社マキテラス 代表取締役坂巻亜矢子氏

ファシリテーター：和歌山市議会議員戸田正人

日時：令和8年3月25日（水）

場所：和歌山城ホール4階大会議室

参加者：中谷市議、辻本市議：山路市議、他市民75名

以下、参加者による以下のアンケート実施及び調査を実施したので報告する（N=43）

【和歌山市×米沢市 まちづくり座談会 参加者アンケート】

Q1. 年代

10代

20代

30代

40代

50代

60代以上

Q2. 立場

会社員

自営業・経営者

学生

主婦・主夫

行政関係者

NPO・地域活動関係

Q3. 「まちづくり」をどのくらい身近に感じていますか？

とても身近に感じる

どちらかといえば身近

あまり身近ではない

よく分からない

Q4. これまでに、まちづくりに関わったことはありますか？（ラジオボタン）

継続的に関わっている

過去に少しだけ関わった
興味はあるが関わったことはない
あまり関心がなかった

Q5. 本日の内容は分かりやすかったですか？

とても分かりやすかった
分かりやすかった
やや難しかった
難しかった

Q6. 今日話を聞いて、自分の考えに最も近いものはどれですか？

自分にもできる関わり方があると感じた
まちづくりの見方が広がった
理想は分かるが難しさも感じた
まだ自分ごとにはなっていない

Q7. 和歌山市でまちづくりが広がりにくい理由は何だと思いますか？

情報が届いていない
何をすればいいか分からない
関わるきっかけがない
時間がない
行政との距離を感じる
失敗への不安
仲間がいない
お金の問題
特に障壁はない
その他（記述式）

Q8. どのような環境があれば、関わってみたいですか？

小さく参加できる機会
得意分野を活かせる場
同世代・同関心の仲間
行政や専門家のサポート
収入や仕事につながる可能性
失敗しても許される雰囲気
特に関わりたいとは思わない

Q9. 和歌山市で「あったらいい」と思うまちづくりを教えてください。（記述式）

Q10. 今後、まちづくりに関する情報を受け取りたいですか？

はい

内容による

不要

【まちづくり座談会アンケート総合分析レポート・エグゼクティブサマリー】

本レポートは「和歌山市×米沢市まちづくり座談会」において実施されたアンケート調査（回答数：53件）を基に、参加者の年齢や立場に応じた傾向を分かりやすくまとめたものである。

参加者は50代を中心に幅広い年代が参加し、行政関係者や自営業者など多様な立場の方々が意見を寄せていただくことができた。

多くの回答者がイベントの内容を「とても分かりやすかった」と評価しており、今後もまちづくりに関する情報を積極的に受け取りたいと回答している。

「ナラティブ」「パッション」「稼ぐ力」の定義

冒頭、私は「まちづくりって何？」というタイトルでミニ講演を行った。その際、まちづくりの重要な視点として「ナラティブ」「パッション」「稼ぐ力」を掲げ、それぞれを以下のように定義した。

ナラティブ

まちの歴史や文化、人々の想いをストーリーとして紡ぎ出し共有すること。

地域の背景や魅力を伝える物語があることで、まちへの愛着や共感が生まれること。

パッション

まちづくりに関わる人々の情熱や自発的な意欲のこと。

自分ごととして取り組む思いの強さが活動の原動力となり、周囲を巻き込む力を生み出すこと。

稼ぐ力

まちづくりを持続可能にするための経済的な基盤を生み出す力。

地域産業の活性化や新しいビジネスの創出など、楽しみながら収益を生み出す仕組みづくりを意味すること。

1. 年代別・立場別の分布

まず、回答者の年代と立場の分布を確認した。年代では50代が最も多く、次いで40代、30代と続く。若年層や高齢層の参加も見られ、幅広い年代がこのイベントに関心を持っていることが分かった。

立場については、行政関係者が最も多く、自営業者（経営者）や会社員、NPO・地域活動関係者が続く。

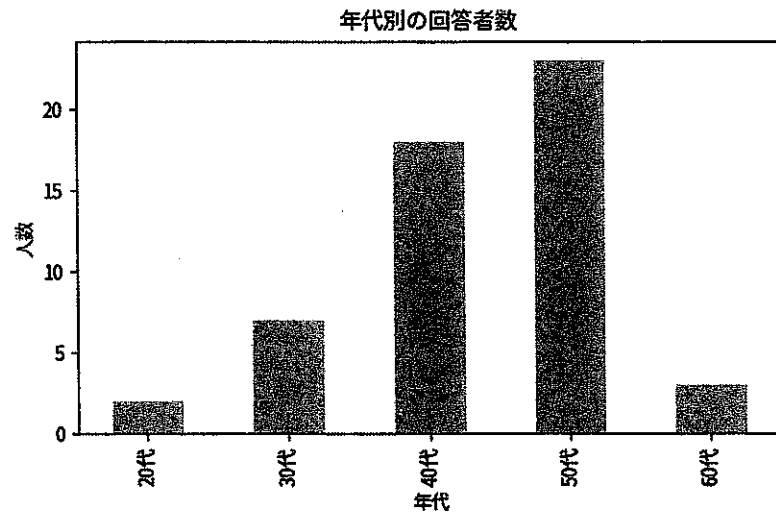


図 1：年代別回答者数

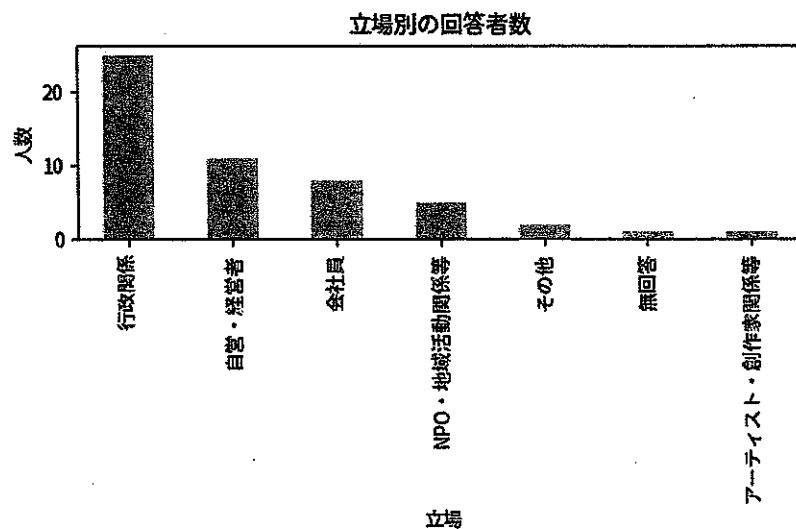


図 2：立場別回答者数

2. コンテンツ理解度の年代別比較

「本日の内容は分かりやすかったですか？」という設問では、「とても分かりやすかった」という回答が全体の約 6 割、「分かりやすかった」が 3 割強を占めた。

一方で「やや難しかった」と回答した人は少数で、特に 50 代や 60 代ではほとんどが理解できたと回答している。

若い世代では「やや難しかった」と感じた割合がやや高く、今後は若い世代にもさらに分かりやすい表現や具体的な事例を用いる工夫が求められる。

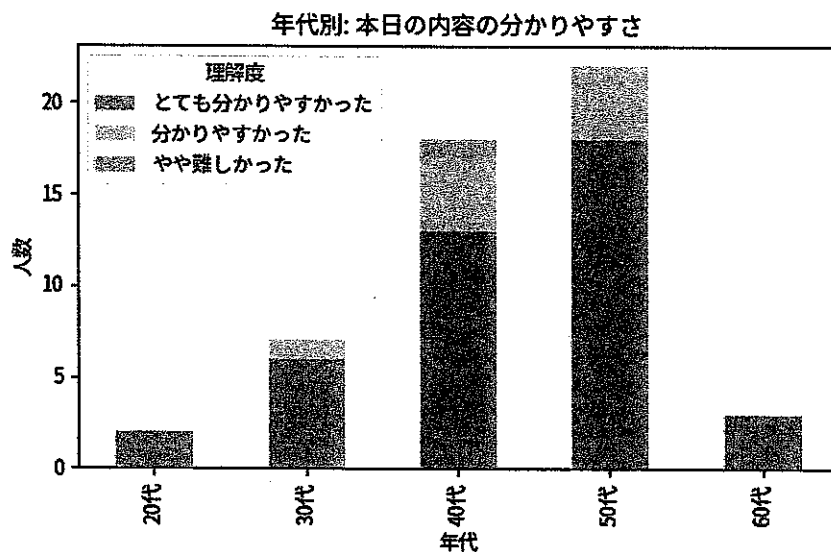


図3: 年代別の理解度 (Q5)

3. 今後の情報受信意向

「今後、まちづくりに関する情報を受け取りたいですか?」という設問では、「はい」と回答した人が過半数を占めた。

「内容による」とした人は年代や立場によらず一定数おり、情報提供の内容や形式が重要であることが示唆される。

「不要」と回答した人は非常に少なく、全体としてまちづくりに対する情報ニーズが高いことが分かる。

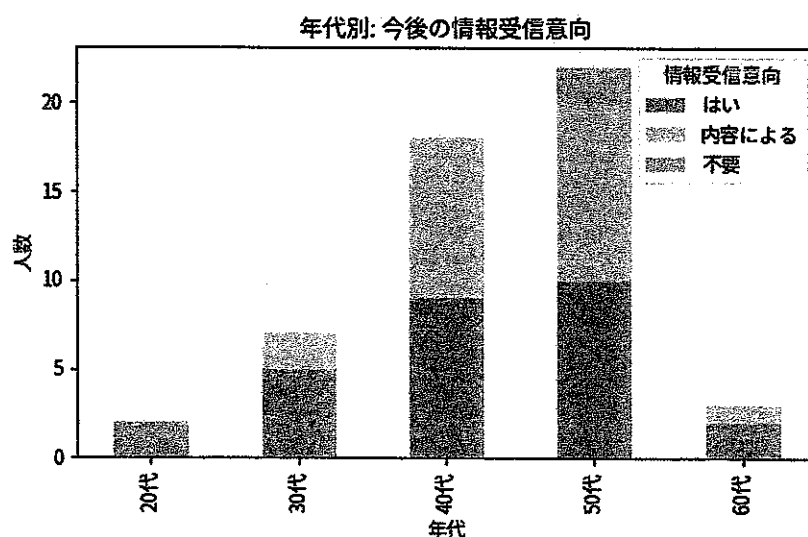


図4: 年代別の情報受信意向 (Q10)

4. まちづくりのイメージと課題

「あなたにとって〈まちづくり〉とは何に近いですか?」という自由回答では、「地域活動」や「地域

の魅力づくり」など、人と人とのつながりや地域の価値を高める取り組みを指す回答が多く挙げられていた。また、「まちのイベント参加」や「行動すること」といった具体的な参加行動を挙げた人も多く、まちづくりは日常生活の延長線上にあるものだという認識が広がっていることが分かる。

上位の回答例：(複数回答可)

- 1.人と人とのつながりをつくること、地域で仕事や産業を育てること、子どもや若者の未来を育てること、福祉や支え合いの仕組みを整えること、地域に誇り（シビックプライド）を持てる状態をつくること、にぎわい・交流が生まれる場を増やすこと、地域内で経済が循環する仕組みをつくること、行政と市民が協働すること（5件）
- 2.人と人とのつながりをつくること、地域で仕事や産業を育てること、地域内で経済が循環する仕組みをつくること（3件）
- 3.人と人とのつながりをつくること、にぎわい・交流が生まれる場を増やすこと（2件）
- 4.地域で仕事や産業を育てること、地域に誇り（シビックプライド）を持てる状態をつくること、にぎわい・交流が生まれる場を増やすこと、地域内で経済が循環する仕組みをつくること（2件）
- 5.地域で仕事や産業を育てること、地域内で経済が循環する仕組みをつくること（2件）

「まちづくりが広がりにくい理由」は、「知名度不足」「情報共有不足」「魅力の発信不足」「行政の支援不足」「参加方法がわからない」といった意見が多く挙げられ、特に若い世代や市民の立場では、情報発信の不足や参加のしづらさを指摘する声が目立った。

こうした課題への対策として、身近な成功事例やストーリーを発信し、SNSなどで気軽に情報収集・参加できる環境を整える必要性を考える。

上位の理由例（複数回答可）

- 6.情報が届いていない、何をすればいいか分からない、関わるきっかけがない（3件）
- 7.情報が届いていない（2件）
- 8.特に障壁はない（2件）
- 9.仲間がいない、お金の問題（2件）
- 10.情報が届いていない、何をすればいいか分からない、関わるきっかけがない、行政との距離を感じる、お金の問題（2件）・情報が届いていない

「どのような環境があれば関わってみたいですか？」という質問に対しては、「参加しやすい場があること」「仲間やネットワークの存在」「活動資金やサポートの充実」「情報共有の場づくり」「魅力的なイベントや体験の機会」などが挙げられていた。

世代や立場を問わず、参加しやすい環境づくりと魅力的な機会提供が重要であることが示されている。

関わりたいと思う環境例【複数回答可】

- 11.得意分野を活かせる場（4件）
- 12.得意分野を活かせる場、収入や仕事につながる可能性、失敗しても許される雰囲気（2件）

- 13.小さく参加できる機会, 得意分野を活かせる場, 失敗しても許される雰囲気 (2件)
- 14.小さく参加できる機会, 得意分野を活かせる場, 同世代・同関心の仲間, 行政や専門家のサポート, 収入や仕事につながる可能性, 失敗しても許される雰囲気 (2件)
- 15.小さく参加できる機会, 得意分野を活かせる場, 同世代・同関心の仲間, 失敗しても許される雰囲気 (2件)

【まとめ】

アンケート結果から、参加者はまちづくりに対して高い関心と理解を持ち、今後も情報を受け取りたいという意欲が強いことが分かった。一方で、まちづくりの概念が十分に浸透していないことや、参加のハードルの高さ、情報共有の不足などの課題も浮き彫りとなった。

これらの課題を解決し、ナラティブ・パッション・稼ぐ力の好循環を生み出すためには、以下の取り組みが有効と考えられる。

ストーリーの発信を強化する

地域の歴史や人々の体験を取り上げ、まちの魅力を具体的なストーリーとして発信することで、共感や参加意欲を高める。

参加しやすい仕組みづくり

オンライン・オフラインを問わず、誰もが気軽に参加できる仕組みやイベントを充実させ、若い世代でも関われる機会を増やす。

経済的な基盤の確立

まちづくりに関連する商品やサービスの開発、寄付やクラウドファンディングの活用などにより、活動を継続できる仕組みを構築する。

ネットワークと学びの場の創出

多様な立場の人々が交流し学び合える場を設けることで、新しいアイデアやパートナーシップを生み出す。

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	F11-1

項目

- ☒ 研究研修費
 ☐ 調査費
 ☐ 広報費
 ☐ 広聴費
 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費
 ☐ 資料作成費
 ☐ 資料購入費
 ☐ 人件費
 ☐ 事務所費

支出年月日

令和 7 年 11 月 6 日

支出額

90,035 円 (按分率)

支出内容

旅費(10/28-29 東京・京都)・受講料
 $¥69,760 + ¥20,000 + ¥275 = ¥90,035$

備考 ※旅費請求内訳表 別紙添付



ご利用明細書

お取扱日	取引店番/機番	
07-09-10	234/12	I
お取引内容		
振込	お取引金額	
	¥20,000	
おつり	手数料(含消費税)	¥275
1万円 5千円 2千円 1千円 硬貨 円		
15:59	口座残高	
三井住友銀行		
麹町支店		
普通		
シチタイキ カイセイリクカソガイ タ		
イヒヨウ カタオカ コ 様		

暗証番号の
おねがい
生年月日や電話番号など他人が知り
得る番号を暗証番号に使用されている
お客様は、速やかにご変更ください。
＜暗証番号はATMで簡単に変更いただけます＞

シハモト カズキ 様

本日付でお振込致します

旅 費 請 求 内 訳 表

旅行先 東京都、京都市 (特別職)			用 務 政務活動のため				旅行期間 自 10月28日 至 10月29日		日 数 1泊2日	
月 日	旅 行 経 路	路 程 km	鉄 道 賃			船 航 空 賃	車 賃 実費又は定額	日 当	宿 泊 料	摘 要
			運 賃	特 別 料	車 金 急 行 料					
10/28	和歌山市 東京都	628.7	8,810	1,300 5,400	1,200 5,280					人事課計算 (25-0145)
10/28	東京都 京都市	517.2	8,810 260 260	5,400	5,280					
10/29	京都市 和歌山市	118.7		2,800	1,860					
計		1,264.6	18,140	14,900	13,620	-	-			合計 ¥ 69,760 円

空機利用区間	公用車等利用区間
--------	----------

請 求 書 下記のとおり請求します。 令和 7年 月 日 創和クラブ 代表者 浜田 真輔 様									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

所 属 職 位	等級	運 賃	日 当 宿 泊 料	そ の 他 料 金	旅 費 定 額 表	支 給 額	氏 名	請求印	領収印
議 員	市長級	46,660			C1+(F1*2)	69,760	芝本 和己		
					23,100				
計		46,660 円	- 円	- 円	23,100 円	69,760 円	1 人		

整理番号

F11 - 1

令和 7 年 10 月 30 日

活動報告書

報告者名 芝本和己

下記の通り、報告します。

日 時	令和 7 年 10 月 28 日 ~ 令和 7 年 10 月 29 日 (/ 泊
場 所	東京、京都
目 的	セミナー及びフォーラムへの参加。
内 容	別添資料参照。

10月28日（火）、自治体議会政策学会主催の「第25期自治政策講座 in 東京3」－これからの自治を担う議会－に参加。第1講義は「監査をする視点からのDX推進とは一目を光らせるポイントは」として日本大学商学部、紺野卓教授のお話を伺った。和歌山市において二年間、監査をさせて頂いた経験から先生の言われる話が非常に理解できた他、チェックをする市議会からの視点も新たな気づきがあった。第2講義の「コメを守れ・地域を守れ－自治体の食糧・農業政策」では山田正彦弁護士・元農林水産大臣のお話を伺った。これまでの農林水産省の取り組みと現状については理解できたが、今、目の前で起こっている課題への取り組みが「地域から国に要望をどんどん上げていくこと」だけでは不十分であり、もう少し国が今後、どのようにして日本のコメ産業を「きちんと守り育成をするのか」を伺いたかった。

10月29日（水）、「京都市勧業館みやこめっせ」で行われた「第4回 地域×Tech 関西」及び「第2回 こども×Tech 関西」に参加。「自治体DX」「GX・スマートシティ推進」「自治体ネットワーク強靱化・セキュリティ」「防災・安全」「産業振興」「地域交通・MaaS」「観光DX・オーバーツーリズム対策」「ネイチャーポジティブ推進」「PPP／PFI事業支援」「自治体生成AI活用」等に関する関係者がブースを構えており、様々な分野で活用できる最新の取り組みが紹介されていた。

早速、本市において使えそうな、また使うべきものに関しては関係部署にて研究してもらおうべく資料を配布。本市の課題解決に活かしていきたい。

招待券

第4回

地域×Tech 関西

< 地域テック関西 >

本紙1枚につき1名様のみ
無料でご入場いただけます。

第2回 こども×Tech 関西 と同時開催!

会場 京都市勧業館みやこめっせ

主催：(株)あわせ 協力：京都銀行

後援：京都府 京都市 京都商工会議所 京都知恵産業創造の森

95社が出展! 地方創生・自治体業務支援のための最新技術展
本展には、地域づくりのための最新テクノロジーやサービスを提供する企業、約95社*が出展します。リアルな場だからこそ、最新技術に直接ふれながら、担当者同士の相談や打合せができます!さらに、地域づくりに関するセミナーも充実の内容です。ぜひご来場ください!
(*最終見直し、同時開催展含む)

京都府副知事



尼崎市長



内閣官房
参事官



が地域づくりを語る!

セミナー情報は
裏面へ

◆自治体や企業の皆様、ぜひご来場ください!

< 来場者 >

・地方自治体 ・首長、議員 ・官公庁 ・地域づくりに関わる企業・団体 など

◆本展には地域づくりのための最新技術が展示されます

自治体 DX

住民サービスのデジタル化、庁内業務効率化・標準化などの、DX 推進に関するソリューション

GX・スマートシティ推進

脱炭素、エネルギー地産地消、都市機能の DX 化など、スマートシティ実現を支援する技術・サービス

自治体ネットワーク強化・セキュリティ

ネットワーク三層分離の見直しや、新たなセキュリティガイドラインへの対応を支援するソリューション

防災・安全

頻発する大型災害への対策や地域の安全・安心を支える製品・サービス

産業振興

農林水産業、商工業などの地場産業の活性化や地元企業を支援するテクノロジー・サービス

地域交通・MaaS

地域交通のスマート化や過疎・高齢化地域に向けた交通・物流に関するソリューション・サービス

観光 DX・オーバーツーリズム対策

観光客誘致、観光経済の活性化やオーバーツーリズム対策に関する最新技術・サービス

ネイチャーポジティブ推進

生態系保全や生物多様性回復、環境回復に資する各種の取組み事例・技術・サービス

PPP / PFI 事業支援

プラ、施設の管理・運営をはじめとする、官民連携で地域の活性化を図る技術・サービス

自治体生成 AI 活用

生成 AI を活用した住民サービス向上や業務効率化を実現するソリューション

※ 出展企業一覧を裏面に記載

◆地域×Tech来場者の声 - 本展は相談・打ち合わせの場としてご活用頂いています -

M 市 情報政策課 (自治体)

DX 関連を中心に 13 社から事業説明を受け、幅広く情報収集ができた。会期後には 2 社から新たな提案もいただいた。今後も質の高い展示とセミナーに期待している。

S 町 政策企画課 (自治体)

マイクロバスを借りて 14 名で参加した。商工観光、農林水産、DX、総務、政策企画課としては、8 社と導入に向けた打ち合わせを進めている。次回もぜひ参加したい。

T 社 システム営業部 (企業・地域 Sier)

公共施設のお客様に提案する商材を見て回った。業務効率改善に繋がる展示が多く、良い機会になった。首都圏ではなく、近場開催なので参加しやすい。

I 市 財産活用課 (自治体)

課の 4 名で訪問、手分けして 15 社のブースを回り、行政向けサービスを見て回った。有意義な情報を得ることができたので、次回も訪問し、行政課題の解決に繋げていきたい。

I 市 まちづくり推進部 (自治体)

デマンド交通やライドシェアなどのソリューションを見て回り、展示会後は企業と打ち合わせを行い当市の規模に合ったサービスを探している。次回も関連部署と一緒に訪問する予定。

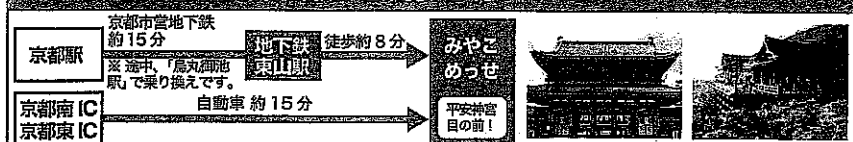
H 市 商工会議所 (民間団体)

地域の商店街の DX 推進やゼロカーボン推進に向けたソリューションを探しに行った。良い製品が見つかり、地域での導入を検討している。次回も来場する。



※2024年11月「第3回 地域×Tech 関西」の様子。

アクセス <地下鉄 東山駅から徒歩 8 分>



下記の方は、ご来場の前にご登録ください

- ◆裏面記載のセミナー聴講をご希望の方
 - ◆本紙をお持ちでない方で来場をご希望の方
- こちらからご登録ください▶▶

※1. 本展の入場には、本紙か、来場登録のいずれかが必要です。
※2. こども×Tech のセミナー聴講登録も上記 QR コードから行えます。



※秋の京都での開催です。宿泊する場合には、早めのホテル予約をお勧めいたします。

お問合せ 地域×Tech 事務局 (株式会社あわせ) TEL: 03-3266-5910 Email: info@localtech.jp
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂6-46-9F

※1. 「地域×Tech 関西」は地域づくりに向けた相談、打ち合わせのためのイベントです。18 歳以下の方や学生の方に関しては入場をお断りする場合がありますので予めご了承ください。
※2. 本展では主催者が会場風景、各ブースの商談風景などの写真・動画を撮影いたします。本展および弊社サービスの案内を目的として各種制作物に掲載する場合がございますのであらかじめご了承ください。

地方創生・自治体業務支援のための最新技術・サービスが集結

満席になり次第締切。お申し込みはお早めに。

▶ <https://localtech.jp/kyoto>

<10月29日(水)>

S-1 人口減少時代を生き抜くための地域 DX

京都市 副知事 鈴木 一弥

◆企業によるプレゼンテーション

西日本旅客鉄道(株)「人材不足の課題解決へ〜JOB JOB GO〜」

S-2 ICT 環境整備で児童・生徒に起きた変化とは?

〜アクティブラーニング教室彦根モデルの取組み〜

滋賀県 彦根市教育委員会 学校 ICT 推進課 主査 宮川 隆行

◆企業によるプレゼンテーション

レボ・ジャパン(株)「レボ・メタバース・スクール」

S-3 地域 DX

12:20 ~ 13:00

「民間と自治体の手を組んで導入を進める地域 DX

〜その成功事例と今後の展望〜

京都フィナンシャルグループ(株) 京都総研コンサルティング

◆企業によるプレゼンテーション

Palmlit(株)「行政シェア No.1 コモンズ AI の活用」

S-4 生物多様性と地域創生

13:30 ~ 14:10

「地域循環共生圏を創り出そう

〜環境保全、社会課題解決、経済成長を同時に実現〜

環境省 大臣官房 地域政策課 地域循環共生圏推進室長 徳村 朋子

◆企業によるプレゼンテーション

兵庫県 神戸市 環境局 自然環境担当部長 岡田 篤

S-5 産官学連携

14:40 ~ 15:20

「京都市の企業誘致戦略とは?」

京都府 京都市 産業観光局 企業誘致推進室

◆企業によるプレゼンテーション

(株)NSD「AI 事業で全国 DX を実現する方法とは?」

S-6 子育て支援

15:50 ~ 16:30

「働く」も「子育て」も応援するまちへ

〜あまがさき子ども・子育てアクションプラン〜

兵庫県 尼崎市長 松本 眞

◆企業によるプレゼンテーション

BABY JOB.(株)「時間貸金から考える仕事と子育ての両立支援」

<10月30日(木)>

S-7 地方創生

10:00 ~ 10:40

「AI・デジタル x 地方創生 2.0

〜行政が変わる、地域が伸びる〜

内閣官房 新しい地方経済・生活環境創生本部事務局

◆企業によるプレゼンテーション

(株)フォーバル「DX の地域活用で、地方創生の進」

S-8 校務支援・働き方改革

11:10 ~ 11:50

「生成 AI で変わる校務 〜枚方市の挑戦と成果〜

大阪府 枚方市 教育委員会事務局

◆企業によるプレゼンテーション

(株)irodori「プロ人材を活用した ICT 支援拠動員」

S-9 地域連携・MaaS

12:20 ~ 13:00

「高齢者の 7 割以上がスマホで予約

〜近野町 MaaS「おでかけこそ」から学ぶ利用者の地域交通〜

三重県 近野町 総務課 安全安心対策室

◆企業によるプレゼンテーション

西日本旅客鉄道(株)「JCLaaS」 持続可能なまちづくり」

S-10 幼稚園・保育所支援

13:30 ~ 14:10

「ICT で支える保育士と保護者双方の安心

〜和歌山県がめざす魅力ある保育現場〜

和歌山県庁 子育て未来課 主査 谷地 知輝

◆企業によるプレゼンテーション

(株)イントラスト「未だに保育士の不安を解消する保証サービス」

S-11 防災・安全

14:40 ~ 15:20

「DX で防災・減災の迅速化と省力化を実現

〜防災まちづくりを支えるデジタルツインプロジェクト〜

和歌山県 田辺市 建築課 調査計画係長 田上 健太郎

◆企業によるプレゼンテーション

(株)アースデザインコンパニオン「災害型資金の未来を支える」

S-12 自治体 DX

15:50 ~ 16:30

「奈良県川西町の庁内 DX 導入事例

〜限られた人的リソースで推進するノウハウ〜

奈良県 川西町 総務課 デジタル推進室 梅津 光章

◆企業によるプレゼンテーション

(株)富士通ラーニングメディア「富士通の知見と人と組織の未来を共に創る。」

※敬称略。講師・演題・時間などは変更になる場合がございます。
また、セミナーの写真・動画の撮影や録音は固くお断りさせていただきます。

※秋の京都での開催です。宿泊する場合には、早めのホテル予約をお勧めいたします。

招待券

第2回

こども × Tech 関西

< こどもテック関西 >

第4回 地域 × Tech 関西 と同時開催!

※本展待望で地域 × Tech も
ご期待ください。

会場 京都市勧業館みやこめっせ

主催: (株) あわえ 協力: 京都銀行

後援: 京都府 京都市 京都商工会議所 京都知恵産業創造の森

95社が出演! 「学校」「子育て」「保育」を支援する最新技術展
本展には、「学校」「子育て」を支援するための最新技術やサービスを提供する企業
約95社が出演します。リアルな場だからこそ、最新技術に直接ふれながら、担当者
同士の相談や打ち合わせができます! さらに、学校・子育てに関するセミナーも充実の
内容です。ぜひご来場ください!
(*最終見直し、同時開催展会場)

京都府副知事



尼崎市長



内閣官房
参事官



が自治体事例を語る!

セミナー
情報は裏面へ

◆ 学校、子育て支援、保育 に関わる皆様、ぜひご来場ください!

来場者

<地域の子育て、学校教育に関わる方々>

【地方自治体】

・教育委員会 ・子ども・子育て支援 ・児童福祉
・政策企画 ・情報システム ・DX推進 など

【学校関係者】

・小学校 ・中学校 ・高校 ・学童運営 など

【こども園・幼稚園・保育園】

【学び・教育に関わる方々】

・小中高校向け塾 ・各種教室、スクール など

相談・打ち合わせ

出展企業

<以下の技術・サービスを提供する企業>

【小中高校向け支援】

・校務支援 ・働き方改革 ・GIGAスクール
・ICT・ネットワーク・セキュリティ ・教育コンテンツ
・STEAM教育・プログラミング教育 ・学校設備
・見守り、防犯、防災 ・不登校支援 など

【こども園・幼稚園・保育園 支援】

・業務効率化 ・人材支援 ・教材 など

【こども・家庭 支援】

・子育て家庭支援 ・子育て支援アプリ
・未就園児の入園支援 など

※ 出展企業一覧を裏面に記載

◆ 本展は4つのゾーンから構成されています。

学校支援ゾーン

校務システムなどの GIGA スクール化支援をはじめ、学校運営
を支える製品・サービスが出演

幼保・こども園支援ゾーン

園業務の DX・運営支援から教材・安全管理まで、園を
支援する各種ソリューションが出演

子育て支援ゾーン

子育て家庭や乳幼児・子どもを支援する様々なサービス・
ソリューションが出演

教材・教育コンテンツゾーン

各種アプリや STEAM 教育教材など授業や自宅学習等を
支える教育コンテンツが集結

◆ こども × Tech 来場者の声 - 本展は相談・打ち合わせの場としてご利用頂いています -

N 市 こども支援課 (自治体)

登壇の打ち合わせや保護者連絡など、公立保育園の ICT 化に繋がるサ
ービスを見つけ、導入を検討している。保育・教育の ICT 活用先進事
例が見られる場として、今後も期待している。

Y 市 子育て支援課 (自治体)

4 社と現場で打ち合わせを行い、子育て現場の業務改善に繋がるサ
ービスを紹介してもらった。子ども人口減少の問題解決に向けた展示も
期待しており、また訪問したい。

U 市 教育総務課 (教育委員会)

7 社のブースを訪問。保護者連絡ツールや電子契約について提案を
受けた。保護者の手数料負担が少なく安全に利用できる集金サ
ービスも探している。この様な会を通じて情報収集に努めていきたい。

K 市 入園所相談課 (自治体)

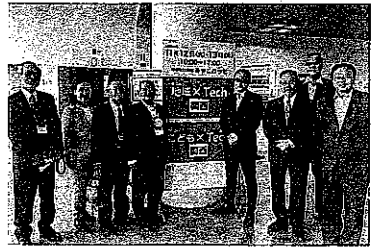
学童の DX 化に向けたツールを探しに来場し、14 社のブースを訪問
した。申請書のペーパーレス化や入退室管理システムを参考にし、当
市での導入を検討中。新年度以降、導入に向けて調整を進める。

S 市 教育総務課 (教育委員会)

教育分野での ICT 活用事例を調査するために訪問した。5 社と会場
で打ち合わせを行い、遠隔授業サービスなど、教員不足や教育格差
解決ソリューションの説明を受けた。導入に向けて検討をしていく。

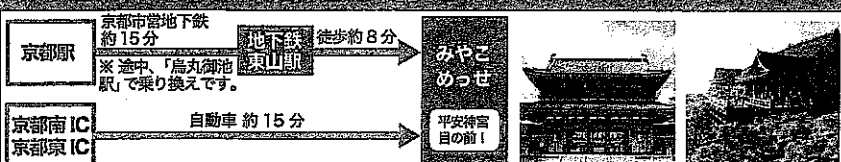
H 高等学校 キャリア教育推進担当 (私立高校)

教育ソリューションを探しに 10 社のブースを訪問。会期後、卒業生
が勤務する出展社に OB 講和会に来てもらい連携を深めている。また、
キャリア教育推進プログラムの実現に向けた案件も進めている。



※2024年11月「第1回 こども xTech 関
西」の様子。

アクセス <地下鉄 東山駅から徒歩 8 分>



下記の方は、ご来場の前に登録ください

- ◆ 裏面記載のセミナー聴講をご希望の方
 - ◆ 本紙をお持ちでない方で来場をご希望の方
- こちらから登録ください ▶▶



- ※1. 本展の入場には、本紙か、来場登録のいずれかが必要です。
- ※2. 地域 × Tech のセミナー聴講登録も上記 QR コードから行えます。

※秋の京都での開催です。宿泊する場合には、早めのホテル予約をお勧めいたします。

お問合せ こども × Tech 事務局 (株) あわえ TEL: 03-3266-5910 Email: info@kodomotech.jp
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂6-46-9F

※1. 「こども × Tech」は地域の学校・保育・子育て支援に関する相談、打ち合わせのためのイベントです。18 歳以下の方や学生の方に関しては入場をお断りする場合がありますので予めご了承ください。
※2. 本展では主催者が会場風景、各ブースの商談風景などの写真・動画を撮影いたします。本展および弊社サービスの案内を目的として各種制作物に掲載する場合がございますので予めご了承ください。

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	G13 - 1

項目

- ☒ 研究研修費
 ☐ 調査費
 ☐ 広報費
 ☐ 広聴費
 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費
 ☐ 資料作成費
 ☐ 資料購入費
 ☐ 人件費
 ☐ 事務所費

支出年月日

令和 7 年 11 月 12 日

支出額

85,210 円 (按分率 %)

支出内容

旅費 (11/3 ~ 11/5 鎌倉市)

備考

※ 旅費請求内訳表別途添付。

< G13-1 >

旅 費 請 求 内 訳 表

旅 行 先 鎌倉市 (特別職)		用 務 日台友好和歌山市議会議員連盟 による調査及び研究活動のため(日台交流サミット)					旅 行 期 間 自 11月3日 至 11月5日		日 数 2 泊 3 日	
月 日	旅 行 経 路	路 程 km	鉄 道 賃			船 航 空 賃	車 賃 又は 実費	日 当	宿 泊 料	摘 要
11/3	和歌山市 — 鎌倉市	586.7	運 賃 円 9,460	特 別 料 円 1,300 5,400	急 行 料 円 1,200 4,620					人事課計算 (25-0105)
11/4	—									
11/5	鎌倉市 — 和歌山市	586.7	9,460	5,400 1,300	4,620 1,200					
計		1,173.4	18,920	13,400	11,640	-	-	-	-	¥ 85,210 円

航空機利用区間

⇔

公用車等利用区間

請 求 書

下記のとおり請求します。

令和 7 年 月 日

創和クラブ 代表者

浜田 真輔 様

所 属	職 務	運 賃	日 当	そ の 他	旅 費	支 給 額	氏 名	請求印	領収印
職 位	の 級		宿 泊 料	料 金	定 額 表				
	市長級	43,960			C2 F1×2/F2×1 33,000 8,250	85,210	丹羽 直子		
議員									
計		43,960 円	- 円	- 円	41,250 円	85,210 円	1 人		

日台交流鎌倉サミット2025 IZA 鎌倉行程表 (令和7年度)

1. 日 時 令和7年11月3日(月)～5日(水) 2泊3日
2. 視察都市 鎌倉市(鎌倉プリンスホテル&鎌倉市役所)
3. 出張者 芝本議長、遠藤会長、丹羽副会長、川端幹事長、辻本事務局長、古川議員、奥山議員、木野議員、清末議員
 随 行 利根局長(議長随伴)、沼丸主任、打村副主任

■ 11月3日(月) 大船夜市

JR和歌山駅13:40集合

和歌山駅発	13:50 (くろしお20号)	新大阪駅着	14:51
新大阪駅発	15:06 (のぞみ30号)	品川駅着	17:25
品川駅発	17:55 (成田エクスプレス38号)	大船駅着	18:32

大船夜市(19:00～21:00) 大船駅東口 芸術館通り (急遽、取りやめ)

ホテル: JR 東日本ホテルメッツ かまくら大船(〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船1-2-1)
 (TEL: 0467-40-1192) (駅徒歩3分: 250m)

夕食: 貸切店

■ 11月4日(火) 鎌倉市

9:00～ オーバーツーリズムに係る事前現地調査(※政務活動による調査)
 14:00 ロビー集合、タクシーでホテルへ(約26分)

★15:00～20:00 @鎌倉プリンスホテル バンケットホール(0467-32-1111)
 日台交流サミット2025 IZA 鎌倉

終了後タクシーでホテルへ(約26分)

■ 11月5日(水) 鎌倉市

9:30 ホテルロビー集合出発(タクシー約20分で鎌倉市役所へ)

★10:00～11:30 @鎌倉市役所
 「鎌倉市の観光政策について(日本遺産、オーバーツーリズムに対する取り組みなど)」

タクシーで大船駅へ(20分)

大船周辺で各自昼食後、ホテルで荷物を受け取る

大船駅発	13:10 (成田エクスプレス31号)	品川駅着	13:49
品川駅発	14:28 (のぞみ395号)	新大阪駅着	16:48
新大阪駅発	17:13 (くろしお21号)	和歌山駅着	18:22

活動報告書

1 出張先 鎌倉市【日台交流サミット IZA 鎌倉】

(式典・サミット・歓迎交流会・エキスカーション)

2 出張者 遠藤 富士雄

芝本議長、丹羽副会長、川端幹事長、辻本事務局長、古川議員、奥山議員、
木野議員、清末議員

3 日台交流サミット IZA 鎌倉 (11月4日から5日まで)

<プログラム>

別紙参照

4 要旨

○11月4日 (式典・サミット・歓迎交流会)

神奈川宣言では、台湾海峡の平和と安定は武力による現状変更は断じて許されないという共通認識を踏まえた制度的基盤を整備すること、国連総会第2758号決議は台湾を国際社会から排除するものではないという共有を持ち、台湾が国際機関や国際的な枠組みへの参加を支持し、早期実現に向けて取り組みを強化すること、あわせて、該当第2758号決議は台湾に一切言及しておらず、誤った解釈と濫用は国際社会の利益を損なうものであることを認識することなどが提言され、採択された。

また、基調講演では、湘南鎌倉総合病院 小林 修三院長より湘南鎌倉総合病院の国際活動と日台連携のほか、当院の研究事例の紹介などがあった。

さらに、来年の日台交流サミットの開催地について、名古屋市議会の藤田和秀氏より名古屋市に決定したと発表があった。

なお、交流会では、台湾と日本の地方議員及び関係者との間で、積極的なコミュニケーションが図られた。

○11月5日 (エキスカーション)

エキスカーションでは、鎌倉市の観光政策について、都市圏から日帰り圏内となっていくこと等の影響で、観光客が増えても税収増に直結しない現状と、オーバーツーリズムの対策について説明を受けた。鎌倉市では観光資源が豊富にあるため、観光客を呼び込む施策よりも、逆にオーバーツーリズムの対策に苦心しているとのことであった。

今後、和歌山市観光政策においては、ただ観光客を呼び込むことに焦点をあてるだけではなく、その後の対応や地元住民の生活にも目を向けた上で、様々な施策を検討していく必要があると感じた。

令和 7 年 11 月 12 日

活動報告書

報告者名 丹羽直子

下記の通り、報告します。

日 時	令和 7 年 11 月 3 日 ~ 令和 7 年 11 月 5 日 (2 泊 3 日)
場 所	鎌倉市
目 的	オーバーツーリズムに係る現地調査
内 容	4日午前中に 鎌倉市のオーバーツーリズムに係る現地調査では 江ノ電に乗り世界的にも有名な舞台と言われている鎌倉高校前 の踏切の現状を視察確認しました。 世界的にも有名ということもあり現地では大勢の外国人と日本人で 混雑(外国人においてはツアーに盛込まれていく大列をなして 観光に来ていた。観光整備事業や公園の整備誘導員の配置 対策など本市の観光課題にも解決できる策など外あることを 現地調査いたしました。

2025年 11月 5日

宿 泊 証 明 書

下記の通り宿泊されましたことを証明いたします。

記

宿泊者名： 丹羽 直子 様

宿泊期間：チェックイン日 2025年 11月 3日（月）

宿泊期間：チェックアウト日 2025年 11月 5日（水）

2泊

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船1-2-1

JR東日本ホテルメッツかまくら大船

TEL 0467-40-1192 FAX 0467-40-1180



JR-EAST **HOTEL METS**

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	G19 - /

項目

- ☒ 研究研修費
 ☐ 調査費
 ☐ 広報費
 ☐ 広聴費
 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費
 ☐ 資料作成費
 ☐ 資料購入費
 ☐ 人件費
 ☐ 事務所費

支出年月日

令和 8 年 3 月 3 日

支出額

2,900 円 (按分率 %)

支出内容

旅費 (3/15 田辺市)

備考

1,450 + 1,450 = 2,900 -

ご利用店名 ETC特別割引
など (南紀田辺本→和歌山南)

金額 1,450円0

ご利用日 3月15日

支払区分 1回

ご利用者 本人

備考 ETC:
[REDACTED]

ご利用店名 ETC特別割引
など (和歌山南→南紀田辺本)

金額 1,450円0

ご利用日 3月15日

支払区分 1回

ご利用者 本人

備考 ETC:
[REDACTED]

政務活動費支払証明書

会派名

創和クラブ

項目

☒ 研究研修費 ☐ 調査費 ☐ 広報費 ☐ 広聴費 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 人件費 ☐ 事務所費

支払年月日

令和 8 年 3 月 31 日

支払額

2,900 円

支払先

西日本高速道路株式会社

支払内容

高速道路利用料金

支払証明をする理由

領収証の発行ができていないため。

上記の金額を支払いました。

令和 8 年 3 月 31 日

支払者名 丹羽直子



上記のとおり支払したことを証明する。

令和 8 年 3 月 31 日

経理責任者名 中谷 課二



※金銭の支払いに関する証拠書類を徴することができない等のため、政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙に当該証拠書類を貼付することができない場合は、本書を作成することをもって、これに代えるものとする。

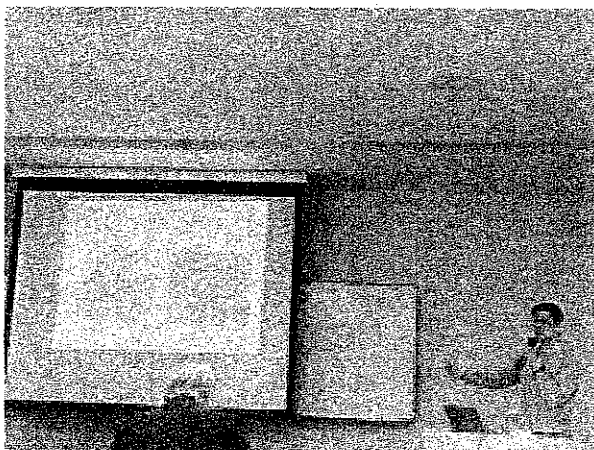
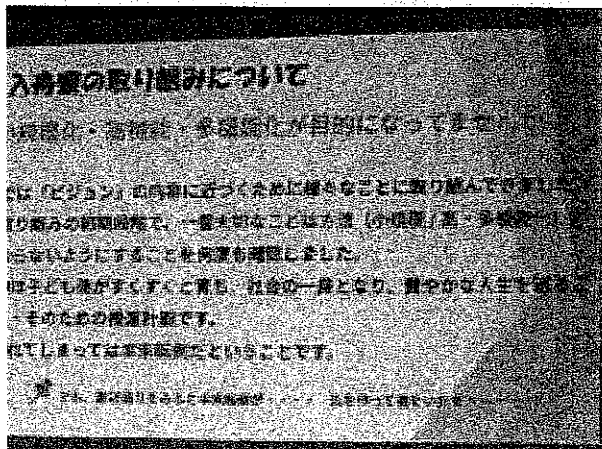
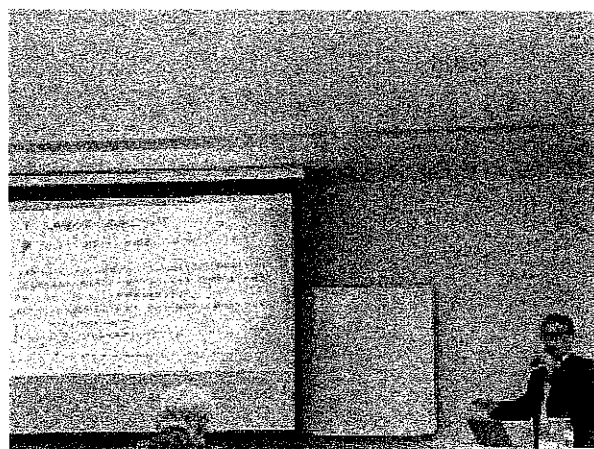
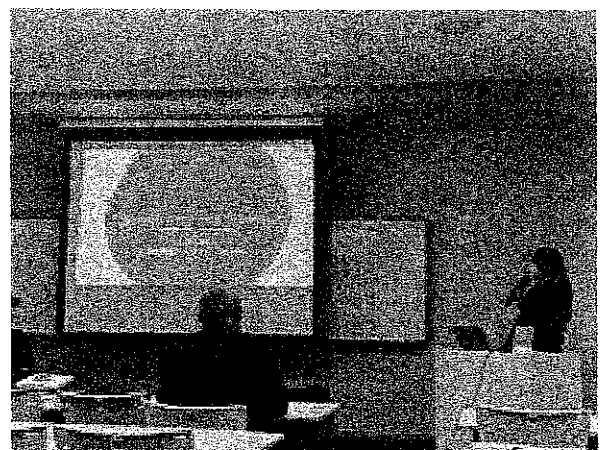
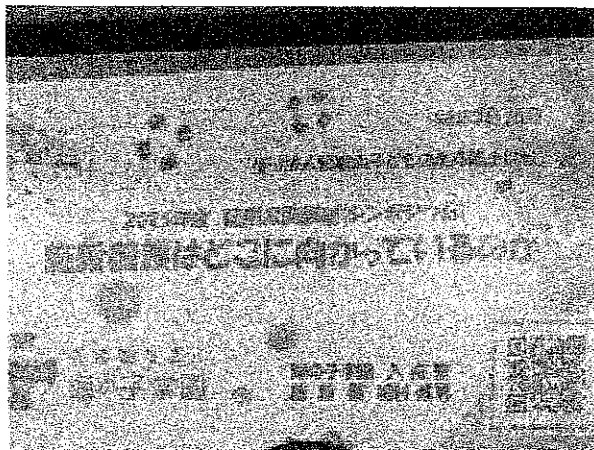
令和 8 年 3 月 31 日

活動報告書

報告者名 丹羽直子

下記の通り、報告します。

日 時	令和 8 年 3 月 15 日 ~ 令和 8 年 3 月 15 日 (泊 日)
場 所	和歌山県情報交流センター Big V 会議室 1
目 的	NPO 法人 和歌山子ども虐待防止協会 公開講演会
内 容	社会的養護を必要とする子どもたちへ適切な施設養護はどのように行われているのかをテーマにシンポジウムが開催され、コーディネーターには和歌山信愛短期大学 保育科の森原先生、講師には社会福祉法人 海の子ども学園 入舟寮 施設長の城村さん、自立援助ホームわたしの家 施設長 川口さん、こはと学園 自立支援コーディネーター 山本さんで 2 時間半にわたり講演をしていただきました。その中でも 1 人で暮らすことを子どもたちは自立だと考えていたり、施設の中でできる事には限界があり、包括的な支援体制の整備が必要、社会構造やライフスタイルの変化により制度の狭間にある子どもたちを抜本的に支援する必要がある、また子どもたちを弱者、かわいそうな子と位置づけ、こではなく成長する力を持つ可能性にありたい存在として関わるのが重要だと、これまでの施設の歴史や流れまた整備体制や時代によって養護のあり方などが議論されました。児童虐待ゼロを目指して日々の関わりや現場関係の精進により今後も研究開発に参加し安心して子どもたちが生活できる和歌山市となるように取り組んでいます。



NPO 法人和歌山子どもの虐待防止協会
2025 年度 紀南公開講演会(シンポジウム)

2026 年 3 月 15 日 (日)

受付 : 13 時 15 分 ~

時間 : 13 時 30 分 ~ 16 時 (予定)

会場 : 和歌山県情報交流センター Big・U 会議室 1

〒646-0011 田辺市新庄町 3353-9 Tel 0739-26-4111

対象 : 会員、一般参加も OK 必ず事前登録をお願いします。3 月 9 日 (月) まで

申込方法 : Fax (073-425-6626)、または メール wspcan@yahoo.co.jp まで

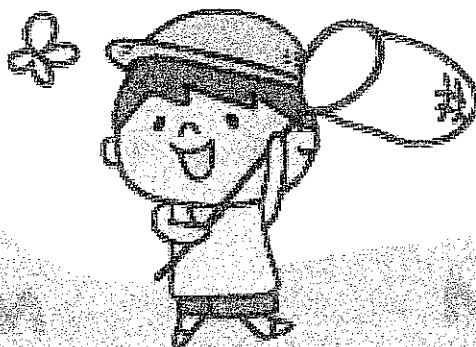
趣旨 社会の変化や子ども・家庭を取り巻く環境の多様化に伴い、施設養護の役割や機能の再定義が求められています。本シンポジウムでは、家庭的養護への移行に対応しながら、施設が果たすべき専門的支援機能を明確にします。また、子どもの意思決定への参加を保障し、個々のニーズに応じたケア体制を構築するための取り組みについて検討し、より質の高い養護を実現するための方策を、養育現場の視点から議論します。

テーマ : 「施設養護は、どこに向かっているのか」

◆ シンポジウム

✦ コーディネーター 桑原 徹也 和歌山信愛短期大学 保育科 講師

✦ シンポジスト
城村 威男 社会福祉法人 海の子学園 入船寮 施設長
川口 充紀 自立援助ホーム わだちの家 施設長
山東 真以 こばと学園 自立支援コーディネーター



《申込・お問合せ先》

NPO 法人和歌山子どもの虐待防止協会

メール : wspcan@yahoo.co.jp FAX : 073-425-6626

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	H7 - 1

項目

☒ 研究研修費
 ☐ 調査費
 ☐ 広報費
 ☐ 広聴費
 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費
☐ 資料作成費
☐ 資料購入費
☐ 人件費
☐ 事務所費

支出年月日

令和 7 年 12 月 1 日

支出額

80,450 円 (按分率 %)

支出内容

旅費 (倶知安町 11/13 ~ 11/15)

備考

*旅費請求内訳表別途添付。

領収書
RECEIPT

下記、正に領収いたしました。

This is to certify that Peach Aviation has received the following.

▶ 宛名

RECEIVED FROM

▶ 金額

¥29,510 (税込) inc

THE SUM OF

明細

2025/10/01 クレジット支払

¥29,510

FORM OF PAYMENT

Credit Card Payment

但し

IN PAYMENT OF

運賃及び料金・税金等として

(ただし、上記領収書には一部の保険料が含まれていない場合があります。含まれていない保険料の領収書をご入用の場合は、保険会社までご連絡ください。また、保険会社の連絡先は保険契約手続き完了後に届くメールをご覧ください。)

INCLUDING FARE, APPLICABLE CHARGES, TAXES, AND OTHER FEES

(However, the amount in the receipt may not include some insurance fee. For the receipt of insurance which is not included in the above amount, please contact to the insurance company. For the contact information, please refer to a thank-you mail from the insurance company.)

▶ 予約番号

BOOKING REFERENCE



▶ 予約日時

BOOKING DATE

2025/10/01 (Wed)

19:43

備考

Remarks

▶ 金額

¥29,510 (税込) inc

THE SUM OF

消費税対象(10%)

¥29,510

Subject to consumption tax(10%)

うち、消費税

¥2,682

tax

領収書等貼付欄

peach

BOARDING PASS



便名 / Flight **MM115**
 行先 / Dest **Sapporo (Shin-Chitose)**
 出発時刻 / Dep Time **17:00**
VEK98U Seq#88 **13Nov25**
 Name

NAKATANI KENJIMR

搭乗口 **98** 座席 **1F**
 Gate Seat

出発時刻 **20** 分前までに搭乗口にお越
 しいただけない場合はご搭乗できません。

NOTICE: Flights close **20** min before
 departure time - **NO EXCEPTION.**

一人のお客様が機内に持ち込める手荷物
 身の回りのもの+手荷物で合計**2**個まで
 重さは合計**7kg**まで
 荷物の3辺の合計が**115cm**以内

Maximum 2 items per passenger in cabin.
 Combined weight of both articles MAY
NOT EXCEED 7 kg. Maximum size 115cm
 total outside linear dimension each item.

お預けのお手荷物がある場合は
 「手荷物預けカウンター」
 へお進みください



peach

BOARDING PASS



便名 / Flight **MM108**
 行先 / Dest **Osaka (Kansai)**
 出発時刻 / Dep Time **13:35**
VEK98U Seq#81 **15Nov25**
 Name

NAKATANI KENJIMR

搭乗口 **1** 座席 **1A**
 Gate Seat

出発時刻 **20** 分前までに搭乗口にお越
 しいただけない場合はご搭乗できません。

NOTICE: Flights close **20** min before
 departure time - **NO EXCEPTION.**

一人のお客様が機内に持ち込める手荷物
 身の回りのもの+手荷物で合計**2**個まで
 重さは合計**7kg**まで
 荷物の3辺の合計が**115cm**以内

Maximum 2 items per passenger in cabin.
 Combined weight of both articles MAY
NOT EXCEED 7 kg. Maximum size 115cm
 total outside linear dimension each item.

お預けのお手荷物がある場合は
 「手荷物預けカウンター」
 へお進みください



旅 費 請 求 内 訳 表

旅 行 先 俱知安町(特別職)		用 務 政務活動のため					旅 行 期 間 自 11月13日 至 11月15日		日 数 2泊3日	
月 日	旅 行 経 路	路 程 km	鉄 道 賃			船 航 空 賃	車 賃 実費又は定額	日 当	宿 泊 料	摘 要
			運 賃	特 別 料 両	車 金 急 行 料					
	和歌山市 - 俱知安町	178.6	920 3,100			29,510				人事課計算 (25-0168)
	俱知安町 - 和歌山市	178.6	3,100 920							
計		357.2	8,040	-	-	29,510	-			合計 ¥ 80,450 円

航空機利用区間

関西国際空港

←→

新千歳空港

公用車等利用区間

請 求 書

下記のとおり請求します。

令和 7年 月 日

創和クラブ 代表者 浜田 真輔 様

所 属 職 位	等 級	運 賃	日 当 宿 泊 料	そ の 他 料 金	旅 費 定 額 表	支 給 額	氏 名	請求印	領収印
員	市長級	37,550			C2+(F1*3)	80,450	中谷 謙二		
					42,900				
計		37,550 円	- 円	- 円	42,900 円	80,450 円	1 人		

令和 7 年 12 月 / 日

活動報告書

報告者名

中谷 謙二

下記の通り、報告します。

日 時	令和 7 年 11 月 13 日 ~ 令和 7 年 11 月 15 日 (2 泊 3 日)
場 所	北海道ニセコエリ (倶知安町)
目 的	倶知安町にある道民伐採・無届建設および農地転用等について
内 容	・道民伐採・無届建設に関する倶知安町の課題 森林法・都市計画法の幅限の多くが北海道にあり、町民に不都合な状況が課題 広大な山林に森林伐採が集中し、道民の生活に支障をきたしている。特に、無届建設の増加が問題となっている。 ・外国産木材の輸入と地元産木材の競争 町民の生活に支障をきたしている。特に、無届建設の増加が問題となっている。 ・倶知安町の現状と課題 外国産木材の輸入と地元産木材の競争が激化している。特に、無届建設の増加が問題となっている。 ・今後の取り組み 1. 外国産木材の輸入と地元産木材の競争の激化 2. 森林・農地・都市計画・観光振興の推進 3. トピックス：伐採・無届建設の増加 4. 関係者との連携 5. 今後の取り組み 6. 今後の取り組み 7. 今後の取り組み 8. 今後の取り組み 9. 今後の取り組み 10. 今後の取り組み

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	H12 - 1

項目

- ☒ 研究研修費
 ☐ 調査費
 ☐ 広報費
 ☐ 広聴費
 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費
 ☐ 資料作成費
 ☐ 資料購入費
 ☐ 人件費
 ☐ 事務所費

支出年月日

令和 8 年 1 月 19 日

支出額

44,750円 (按分率 %)

支出内容

旅費 (1/20 ~ 1/21 福山市 瀬戸内市)

備考

※ 旅費請求内訳書 別途添付。